

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ	チーム名	クレヨン9ちゃん
タイトル	仕事と子育ての両立について		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	幸田真奈、合田薫、新井美希、藤永可菜、久保愛美、前川加菜、橋口沙喜、西田彩乃、笹岡可奈子		
研究計画内容	<p>人々は、自分の幸福を最大化させる選択をして生きています。生きていく上で避けて通れないのが、仕事に関する事。仕事から得られる給与によって、私たちは生活しているからです。仕事に加えて、人々にとって結婚・出産・育児は人生において、大きな幸福を感じる瞬間だと思えます。その幸福を感じながら、働きたいと思う女性が近年増加傾向にあります。しかし、日本では「男性は仕事、女性は家庭」という考えがいまだに根強く残っており、出産・育児と平行して働きたいという女性の思いがなかなか実現されずにいる現状です。そこで私たちがこれから就職活動するにあたり、男女の共同参画を推進する制度はどのようなものがあるか、また、その制度を活用して、どのような成果が得られているのか、“育児と仕事の両立”についてスポットライトをあてて、研究を進めます。</p> <p>この研究は、女性労働の現状を統計などから読み取り、共働きのメリット・デメリットを個人的・社会的な視点から考えます。また、独自の育休制度を実施している企業に焦点をあて、その制度がどのように実際に利用されているのかお話を伺いました。そして、このように育児を応援する制度があるにも関わらず、仕事と子育てを両立できない現実についても考えます。最後に、出産・育児を経験された方にアンケートを行い、これからの女性の生き方、それと共に男性が子育ての大変さを理解し協力しあうことの大切さ、そして社会政策がどうあるべきかを考え、私たちなりの“仕事と子育ての両立”に対する解決策を提案します。</p> <p>この発表により、女性と男性が協力し合い育児をする環境を創ること、そして会社の育休制度を有効に利用し、また仕事に復帰できる環境を創ることの意味を今一度考えるきっかけにしたいと思います。</p>		